

世界と日本のタバコ事情

パッケージの警告の違い

タバコのパッケージの警告は、日本では注意文言がパッケージの主要面に記載されているだけです（表示面積は50%以上となることに決まっています）、欧米などの他国では健康被害を表す写真が前面に出されていたり強い言葉や怖い病名をはっきりとあげていたりします。



各国の価格

日本のタバコ価格は、2020年10月のタバコ税の増税により1箱当たり約50円値上がりし、現在はだいたい400円~600円程度となっています。20年前に比べると2倍の価格になっている銘柄もあるそうです。さらに今年の10月にも増税され、いよいよ1箱1000円をこえてくる日が近づいています。

このように日本のタバコ価格・タバコ税はどんどん上がっていますが、では世界各国のタバコの価格は日本に比ぶどの程度なのでしょう。

	日本との比較	1箱に占める税率
日本	-	60%
イギリス	3.8倍	76.5%
フランス	2.6倍	80%
ドイツ	2.3倍	76%
カナダ	2.9倍	70%
アメリカ	1.7倍	37%
中国	0.7倍	40%
ロシア	0.6倍	33%

欧米の先進諸国のタバコの価格はなんと日本の2~4倍であり、税率も10%以上も上回っています。実は日本はタバコが安い国なのです。



喫煙率

各国の喫煙率はどうなっているのでしょうか。

	喫煙率	男性の喫煙率	女性の喫煙率
日本	29%	44%	14%
イギリス	36%	37%	35%
フランス	32%	37%	27%
ドイツ	32%	37%	26%
カナダ	18%	19%	18%
アメリカ	24%	26%	22%
中国	32%	60%	4%
ロシア	48%	70%	27%

タバコの価格が高い欧米諸国では喫煙率が低くなりそうですが、実はそのようなことはなく、日本と同程度かむしろ少し高めです。日本はタバコの価格は安いですが、それに比べ喫煙率は決して高過ぎる数値ではありません。

また、男女別での喫煙率をみると、欧米の先進国では男女差が小さいのも特徴です。中には男性よりも女性の方が喫煙率の高い国もあります。

日本では男性の喫煙率は年々減少傾向ですが、女性は増加傾向にあります。

タバコの消費量

日本はタバコの価格が経済レベルの割に安いといえます。したがって、金銭的に気軽にタバコを購入することができてしまうのです。国民一人当たりのタバコ消費量が多い、すなわちヘビー smoker 国となっています。



禁煙政策

タバコの消費量は各国の禁煙政策も大きく関与していると考えられます。日本では近年、公共の場でのタバコ規制が進んでいますが、欧米諸国ではこれらの規制はもう当たり前となっています。屋内の公共の場はもちろん酒場や飲食店では全面禁煙を実施している国も多いのです。タバコの広告の禁止、メディアで喫煙シーンを流さない、など喫煙そのものを抑制しようと取り組まれています。